

CIRIEC JAPAN2021 夏の特別シンポジウム

不確実性の中でのエネルギー規制政策

日時：2021年7月17日（土）14時00分～16時30分

14時00分～14時20分

【問題提起】

- ・西村陽「2021～2022年の電力需給危機とその対応～公益事業規制上の論点」

14時25分～15時15分

【論点別話題提供】（1論点10分）

- ・野村宗訓「電力自由化制度設計の変遷と背景（英国等）」
- ・竹内純子「状況変化下の原子力事業の継続性」
- ・穴山悌三「情勢変化下の電力規制のTRANSITION」
- ・草薙真一「エネルギー事業の脱炭素と事業継続性」
- ・花田真一「再生可能エネルギーの拡大持続性に向けて」

15時20分～16時20分

【パネルディスカッション】

「エネルギー事業規制の新たな課題と対応手法」

- ・日本の電力自由化の評価、社会に何をもたらしたのか。
（電力自由化は社会にとって適切な規制改革となったのか）
- ・エネルギー政策にとって何が重要なのか。
（安定供給、適切な競争市場）
- ・規制、ルールはどう革新すべきか
- ・特に、再エネ／脱炭素と市場ルールはどう調整すべきか

16時20分～16時30分

【シンポジウムのまとめと12月の学会へ向けて】

- ・森由美子（CIRIEC2021大会実行委員長）